

2/9 午後

# 「ヤングケアラー」 9割悩み相談せず

## 自助グループ調査

精神疾患の親がいる人の九割が小学生の頃に生活の悩みを学校で相談しなかつたことが八日、自助グループの調査で分かった。中

学、高校時代も八割前後だった。親のことで「大変だ」といった人は各時期で八割程度おり、調査に当たった専門家は相談しやすい環境を求める動画を作る方針だ。病気や障害の家族を世話する十八歳未満の子どもはヤングケアラーと呼ばれる

### 精神疾患の親を持つ人への主な調査結果

|  | 小学生時代 | 中学生時代 | 高校生時代 |
|--|-------|-------|-------|
|--|-------|-------|-------|

|                   |       |      |      |
|-------------------|-------|------|------|
| 学校への相談歴<br>相談したこと | 91.7% | 84.5 | 78.6 |
|-------------------|-------|------|------|

ヤングケアラーとしての役割  
(複数回答)

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 情緒的ケア | 61.5 | 57.8 | 59.3 |
|-------|------|------|------|

|          |      |      |      |
|----------|------|------|------|
| 手伝い以上の家事 | 32.1 | 30.2 | 29.7 |
|----------|------|------|------|

生活体験(複数回答)

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 不安だった | 78.0 | 72.4 | 74.6 |
|-------|------|------|------|

|            |      |      |      |
|------------|------|------|------|
| 心身に不調を来たした | 50.5 | 50.9 | 53.4 |
|------------|------|------|------|

衛生看護  
教授(公衆  
大大学院  
わつた大阪  
藤山正子准  
調査に携  
しいこと、  
隠すべきこ  
とだと思つ  
たなどだ  
つた。

る。学業や進路に影響する  
こともあり、国が全国の中  
高生を対象に実態調査を始  
めている。

調査は自助グループ「こ  
どもぴあ」の活動に参加し  
た二十一・五十年代の男女百二  
一割いた。

由は、自由記述で「家族か  
ら口止められた」「恥ずか  
しいこと、  
隠すべきこ  
とだと思つ  
たなどだ  
つた。

（教員は生徒の中にヤング  
ケアラーがいる前提で、偏  
見を持たず、子どもを気に  
かけ話を聞いてほしい」と  
訴えた。

ケアラーがいる前提で、偏  
見を持たず、子どもを気に  
かけ話を聞いてほしい」と  
訴えた。

十人にインターネットで小  
中高時代それぞれの経験を  
聞いた。

自分が担った役割(複数  
回答)を聞くと「親の情緒  
的ケア」が全ての時期で六  
割おり、続いて「手伝い以  
上の家事」は三割だった。

生活体験(複数回答)では  
全時期で七割超が「不安だ  
った」、五割が「心身に不  
調を來した」と回答。小学  
生の頃に「家で大人同士の  
けんかが絶えなかつた」が  
六割、「私やきょうだいに  
親から攻撃があつた」が五  
割いた。

学校に相談しなかつた理  
由は、自由記述で「家族か  
ら口止められた」「恥ずか  
しいこと、  
隠すべきこ  
とだと思つ  
たなどだ  
つた。